



■誰にも、前世があります

私たちは、「たましいの存在」であり、何度も生まれ変わって、さまざまなシチュエーションで、自分のたましいの学びを経験しています。過去の人生を、一般に、「前世」「過去世」と表現することがあります。

たましいの観点から考えれば、さまざまな資質や経験からの学びは、生まれ変わりの中でも引き継がれていきます。

それは、今回の人生においても同様であり、生まれた時点で、ゼロからスタートしているわけではありません。（生まれた時点でも、既に個性を有しており、性格の違いなどが、見て取れることと思います）

この世に産まれてきたときには、表面的には、前世の記憶をもっていませんが、「たましい」の中には、備わっています。私たちは無意識ながら、前世で培ったものを活用したり、習慣を引き継いでいたりするものです

■前世と、今回の人生の関わり

今回の人生は、過去の人生で培った学びの要素や積み重ねた経験をもとに、家族環境、時代や地域、性別その他を自分で選んで、生まれてきています。

通常、私たちは、そのことを忘れていきますし、意識する機会もありますが・・・、たましいの観点からすれば、意味のないものはひとつもない、すべては「必然」であり、意味のある作用なのです。

今回の人生における、前世（の経験や、学び）の関わり方は、たましいの数だけバリエーションがあります。

前世で経験したことを、さらに伸ばして活用していくために、今回の人生でも似たようなことを行う学びもあれば、逆に、前世で深く関わらなかった部分を学ぶために、新しいことにチャレンジしていく人生もあるでしょう。

誰もがたくさんの学びの要素を備えて、今回の人生を経験するのですから、通常、どのどちらの要素も、関わってきます。「前世で培ったものを活かすだけ」の人もいませんし、「前世での不足を補うためだけ」の人もいません。

中 略

■原因はどこにある？前世、それとも今回の人生？

人の性格を培うものは、いろいろな経験と、それにともなう感動や気づきの積み重ねです。

例えば、「他者と協調できない」性格の人がいたとして、その原因が、前世からくるものか、それとも今回の人生における環境や出来事のせいか、というと、それはきっと「両方」だと思います。

いくつもの前世で、たましいの課題として残ったこと、または培われたことの続きを、今回の人生でも（状況は全く同じではないにしろ）引き継いでいくことが多いです。前世でやり残した課題に、再び挑む場合もあれば、前世と逆のことをして、プラス／マイナスの帳尻を合わせる場合もあります。

中 略

■前世を知ること、必ずしも大切ではない

スピリチュアリズムに関心がある人にとっては、前世に興味ができるのは、自然なことでもあると思います。前世と、今回の人生の関わり、それらの仕組みについて理解をしていくことで、生きる上での考え方に深まりが生まれることもあるでしょう。

けれど、具体的に、自分の前世がどんな人物だったのか、という点を知ることが、必ずしも大切ではない、と思います。

なぜなら、前世から引き継いだ感情や思考の習慣で、改善点が仮にあるとしても、それが具体的にどういう関わりからつくられたのか、前世でどういう生き方をしたのかを、把握しなければ、改善できないわけではないからです。

実際、多くの人が、自分の前世を知る機会を持たないわけで・・・、私たちは、前世を（表面的な記憶では）忘れて、生まれてきていることにも、意味があると思います。具体的に何がどうなったのかを知らなくても、自分の未来を見据えて、力強く生きていくことができるのならば、それでいいのだと思いますし、そちらのほうが大切です。

私たちは、自分がしたことはすべて自分に返ってくるという「カルマの法則」により、経験すべきことを経験するようになっています。学びは、完璧なタイミングで、与えられる仕組みになっていますから、日々を大切に、「今に生きる」ことが一番大切です。前世への過剰な興味で、今に意識が向かなくなり、逃避につながることは問題です。

しかし、前世を知ることによって解消される感情や、気づきが深くなる等作用も、実際にありますので、前世を知ることそのものが、無意味だとも思いません。

結局、すべては、自分が何をどうとらえて、気づきにつなげ、深い理解を得ていき、今後にかすことができるか、という点が大切なのだと思います。

☆☆

誰にでも、前世は複数あります。お伝えするのは、私が把握できるもの、伝わるものの中で、「今回の人生に、影響を与えている、関連性が深いと思われる前世」となります。

先の説明にもありましたとおり、大切なのは、「今回の人生を、いかにして生きるか」であり、前世は、そのための、参考にはなるとは思いますが、それ以上の興味付けを、し過ぎないことも大切です。

「遠い過去に、そういうことも、あったのかもしれないな」というくらいのお気持ちで、お読みいただき、お伝えすることの中に、今とこれからに活用できるヒントに繋がるものを、見出していただければ、と思います。

☆☆

あなたの前世は、○○○○○ ○○○○○

○○○○○ ○○○○○

○○○○○ ○○○○○

○○○○○ ○○○○○

そのときの影響で、今回のあなたが持ち越した学びとして、「他人に、自分の期待や理想像を当てはめて、それが相手の姿であるはず」と、期待を込めた思い込みをして、あなた自身が、苦勞を背負い込んでしまう、という点があります。

頭では分かっているけど、「そう思いこみたくなる」のか、「そう思ってしまう」のか・・・、相手を、等身大で見ることができずに、いらぬトラブルを作り出しているところがあると思います。

○○○○○ ○○○○○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

・・・このことから、あなたは、今回の人生で、「他人に理想を投影しすぎない」ことを、学んでいく必要があるでしょう。

そのためには、なぜ、そのように相手を見てしまうのか、を、理解することが大切です。その理由として、上記の前世が、関わりを持っています。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○